

第 113 回 番組審議会 議事録

開催日時：2021 年 5 月に郵送にて開催

- 1) 出席委員（総数 7 名：出席数 7 名）
 - 2) 小島香代子／愛知史康／伊藤めぐみ／大畑卓也／塚本明子／弓場美奈／近藤慎一
-

2) 審議番組の内容

番組タイトル 『This is the world』
パーソナリティ カイル・デイゼンブロク
放送日時 2021 年 4 月 9 日(木) 14:30～15:00
2021 年 4 月 14 日(水) 13:00～13:30(再放送)

番組概要

世界はどうなっているの？面白い海外ニュースやトピックなどを紹介！
そして、テーマに合わせておすすめの音楽もお届けします！
This is the world を聴けば自分の世界が広がるかも！

3) 審議の内容

【小島委員】

番組を聞いて心が和みました。

番組タイトルから予想していた内容とは違い、とても身近な話題を取り上げている。思い切って英語で進めてみてはどうだろうか？アメリカ人という彼の特性がその方が生かせるのではないだろうか。英語の番組が 1 つ位あってもいいと思う。カイルさんのトークも難しいことを話しているわけではないので、英語で話した方が、特色が出るのではないのでしょうか。

【愛知委員】

パーソナリティの話し方が丁寧で、とても好感が持てます。全体の構成についても、トークと楽曲を組み合わせることで飽きさせない内容になっていると思います。自分自身が 10 代の時に、聴きたくなる内容だと感じました。

【伊藤委員】

カイルさんは日本のことを好きなんだなあということが伝わってくる和やかな雰囲気、というのが第一印象でした。

ただ、流暢な日本語、というわけではなく、また若干早口なところがあるため、分かりにくく、意味がきちんと伝わらない部分があるのではないかと思います。リピートしてやっと聞き取れた、という箇所が数か所ありました。

最初 2 曲の選曲が邦楽で、洋楽が流れるかと勝手に期待していたので少し残念に思いましたが、懐かしい曲でもあったので洋楽を好まない人にとっても聴きやすかったかなと思います。

今回、日本の良いところ、というトークテーマでしたが、個人的に「？」と感じるエピソードはありましたが、日本と海外との違いを交えて紹介するトークは興味深く、もっと聴きたいな、と思いました。

【大畑委員】

とても聞き取りやすい日本語で話していることに驚きました。日本での差別はとてもナイーブな話題ですが、明るく話しておりとても好感がもてました。

日本の良いことを紹介していただきました。日本では当たり前のことが世界基準では普通ではないことが分かってとても良いと思いました。

アメリカと日本のコンビニの話をしてくれました。私もハワイ州とテキサス州に行った経験がありますが、ハワイ州は日本に近く、テキサス州はカイルさんの話に近かったです。アメリカ内でもバラツキがあることも伝えて貰えると良いかとも思いました。

ゆっくりと話されており、とても聞きやすいと感じました。30 分間がとても短い時間に感じました。

【塚本委員】

最近の差別にからめて、テーマを「日本の良いなあと思うところ」について「差別」は「個々人」の感じようで、無意識すぎるときには、差別を感じさせてしまうことに気づかされた。

パーソナリティ自身は「一度も嫌なことに出会わずにいる」、「日本の良いことばかりに出会えた」と語る姿勢は、パーソナリティの物事のとらえ方に触れ、考えさせられる事柄と感じた。

挿入歌・構成も良く、オープニングテーマからテーマに続く進行もテンポのある語りで良かった。

今後もリスナーに対し、文化の違い、自身のパーソナルな部分を前面に出していた番組作りで世界を広げてほしい。

【弓場委員】

話す言葉も分かりやすく、テンポや声質、音量等すべてが良かったです。

番組の内容もチョイスがおもしろいと思いました。在日アメリカ人だからこそわかることや、また外国人目線での文化違いを知ることができ、楽しい番組でした。BGMのパーソナリティにとっても合っていると思います。

せっくなので、特別番組などゲストを呼んだりぜひやってほしいです！

英会話講座の番組（再放送も入れて週2のペースで）もあるといいです。

【近藤委員】

日本人では当たり前な日常の出来事ですが、外国人の視点での話の内容に改めて日本の良さに気が付かされた気がします。

日本とアメリカの文化・習慣・風習の違いについての話を聞いて、日本人でよかったと感じられました。

ただ、曲を流す時間が多く、トークの中身が上記の内容だけで終わった感じがしました。

日本語が上手な外国人の特性を生かして、聞き手の日本人が、普段気が付かない日本とアメリカの比較の話や英単語の解説など英語のためになる話など、もっと話を膨らませてほしいと思います。

今後の方向性として、外国人が日本人リスナーに受け狙いのトークをしようとすると日本人との感性の違いや、笑いのツボの違いにより、トークが滑る恐れがあるのでそういった受け狙いのようなトークは目指さなくてもいいと思います。外国人としての感性をありのままに、感じたこと、出来事、考えたことをもっといろいろ話していただけるだけで、厚みのあるもっと面白い番組になるのではないのでしょうか。